

犬島がアートの島へと変貌していく様子を記録する

在本桂子

活動の目的

瀬戸内国際芸術等の展示やイベントのため、多くのアーティストが来島し、島の人々との交流が生まれている。人と人との関わりから生じた出来事を、平成25年1月から平成29年2月まで月1編、岡山市東区限定発行の「山陽新聞マイタウン西大寺」というタウン紙に50回掲載した。この連載に使用した原稿を、岡山県のみならず全国の方に犬島に興味を持ってもらうための案内としてまとめ、後世への記録として残したい。

活動の内容及び経過

平成29年4月より「マイタウン」原稿を精査し、アーティストへの追加取材を行って、最新情報や「マイタウン」には書かれていなかった逸話等を盛り込んで編集した。そして「犬島再発見の会」メンバーの協力を得て格安にDTP作成・校正作業を行った。印刷・出版は(株)吉備人に依頼した。

平成30年1月28日に吉備人選書「アートの島 犬島へ」出版。

同年2月12日には西大寺コミュニティふれあい広場講座にて、出版記念を兼ねて講演。さらに2月22日には岡山市教育長に同書籍を50冊寄贈した。

なお、取材に協力していただいたアーティスト・関係者には同書を贈呈済みである。

活動の成果・効果

過疎に喘ぐ犬島がどのようにしてアートの島へと変貌したのかの記録を、多くの人が容易に知りうるようにするため、分かりやすい書籍に纏めることができた。そして、後世への記録として耐えられるように記事内容を精査しアップデートすることもできた。

書籍の内容は、

第1章 アートの始まり

第2章 犬島精錬所美術館

第3章 瀬戸内国際芸術祭

第4章 犬島時間

第5章 犬島に魅せられた人たち

からなっている。

アーティスト達との生の交流模様やその思い、過去に展示されていた作品やイベント等を網羅しており、岡山城築城400年記念イベントから約20年のアートの歴史を鮮やかに記述できたと作者は自負している。

また、「犬島精錬所美術館」の誕生10周年という節目に出版となり、島民の眼を通して見つめてきた建設に関わった人々や福武總一郎氏の、横顔や熱い思いが伝われば幸い



である。

この書籍は出版社からの評価も高く、15冊目の「吉備人選書」として出版する運びとなった。犬島へのアクセスや島内のガイドマップ、観光名所や飲食店の情報が網羅し、犬島の年表も掲載したので、本書を手にも島内を散策していたら、より犬島の魅力に気づいていただけたらと思う。

そして、その書籍50冊を岡山市内の公民館・図書館に配布していただくため寄贈した。また、地元に近い西大寺において出版記念を兼ね講演を行った。さらには、ラジオへの出演、新聞社からの取材を通じて書籍の広報活動を行い、アートの島へのあゆみと現在の犬島の魅力を発信した。

今後の課題と問題点

今後も犬島の変化をフォローし続けると共に、犬島の埋もれた歴史・逸話を丹念に掘り起こし「再発見」を続けていきたい。

また平成27年度に行った樹木プレート設置活動のフォロー・メンテナンスも継続していきたい。

●代表者：在本桂子 ●所在地：岡山市東区犬島

●TEL：086-947-0279

●E-MAIL：a-sigeru0019@citrus/ocn.ne.jp